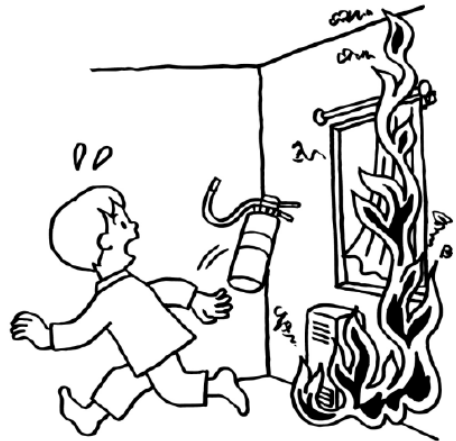


サブテキスト【消火章（3級）】

◎消火の大切さ

まずは大声で周りの人に知らせ、助けに来てくれた人たちと協力して通報や消火をしましょう。早く火を消すことができれば、それだけ被害が少なくてすみます。でも、忘れてはいけないのは、火災を消すことは危険と隣り合わせだということです。消火の限界を超えた場合や、危険だと感じたら、すぐに避難して消火は消防隊に任せましょう。



◎燃焼の三要素（燃えるために必要な3つのもの）



◎消火の原理（消火の三原則）

上の図にある、燃焼の三要素（可燃物・酸素・熱源）の全部または一部を取り除くこと。

◎消火の方法

- 水をかけて温度を下げる **冷却消火**
- 空気を断つ **窒息消火**
- 燃えるものを取り除く **除去消火**

燃焼の三要素をひとつでも取ると、火は消えるんだね！



◎消火器の使用上の注意点

- 運ぶ前に安全ピンを抜かないようにする。
- 消火器による消火の限界の目安は、炎が天井に到達するまでである。
- 危険と感じた場合は、直ちに安全な場所に避難する。
- 消火の前にまず逃げ道を確保しておく。
- 燃えている火元に向けて放射する。
- 消火器の処分方法は、指定取引場所に持って行って処分する。

◎消火器の種類

種類	放射時間 (秒)	放射距離 (m)
粉末消火器	約11～18	約3～6
強化液消火器	約23～80 ※80秒は大型のもの。	約3～8